

<第1回 防災推進国民大会>

開催日：平成28年8月27日（土）、28日（日）

主催：第1回防災推進国民大会実行委員会

（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）

「第1回 防災推進国民大会」が8月27日（土）、28日（日）の2日間、東京大学本郷キャンパスにて開催されました。

本大会は、多様な団体・機関等が一堂に会し、防災に関する講演・シンポジウムや展示などを行う総合イベントで、国民一人一人・地域レベルでの防災意識の向上などを図ることを目的とし、内閣府が主催したものです。会場となった東京大学では、安田講堂をはじめ、山上会館・小柴ホール・理学部棟の各会場にて2日間にわたり様々な講演・シンポジウム・展示が行われました。

27日（土）に安田講堂で行われたオープニングセレモニーでは、松本純内閣府特命担当大臣（防災）より開会宣言がなされ、その後引き続き基調講演・シンポジウムが行われました。（写真-1）

各会場で行われた講演・シンポジウムのいくつかをご紹介しますと、27日（土）には、内閣府（科学技術・イノベーション担当）・文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構・国立研究開発法人防災科学技術研究所による「災害大国日本を生き抜く～SIP『レジリエントな防災・減災機能の強化』と熊本地震での取り組み～」が行われました。当日の会場はほぼ満席状態で、立ち見が出るほどでした。



写真1：東京大学安田講堂



また、REIC 賛助会員でもある東北大学災害科学国際研究所 今村文彦教授は、27日（土）に「東京海上グループ・東北大学 産学連携フォーラム『安心・安全を未来につなぐー東日本大震災等で得られた教訓は活かされているか？ー』」、28日（日）には「東日本大震災・熊本地震を踏まえた東北からの災害研究の発信」など、2日間にわたり登壇されました。

本大会では、大人から子供まで楽しみながら防災を学ぶということをコンセプトに、体験型のイベントも数多く行われました。特に人気が高かったものの一つとして、全労済主催の「Dr.ナダレンジャーの防災科学実験ショー」が2日間行われました。本ショーは、国立研究開発法人防災科学技術研究所の所員による、身近なもので出来た道具によって様々な自然災害の現象を楽しく解説する科学実験です。未就学児童から大人まで、大変盛り上がっていました。（写真-2）



写真2：Dr.ナダレンジャー防災科学実験ショー

安田講堂に設けられた展示ブースには、REICも出展し、緊急地震速報（警報と予報）および緊急津波避難情報システムの紹介を、ポスター展示・ビデオ放映等を行いました。当日は、課外授業で訪れた学生や一般の親子連れの方々も、熱心にご覧いただきました。特に、8月1日に発表された緊急地震速報（予報）の影響もあり、警報と予報の特徴や活用事例などについて関心が集まりました。（写真-3）

同会場では、REIC正会員のオールシーソリューション株式会社も出展され、緊急地震速報アプリ「ゆれくるコール」を紹介されていました。こちらでも、REIC同様に8月1日に発表された緊急地震速報（予報）について質問が寄せられたそうです。（写真-4）

その他、REIC展示ブースの両隣には、国立研究開発法人防災科学技術研究所と内閣府（防災担当）が出展され、来場者の関心が集まっていました。

第2回の開催は、平成29年11月26日(日)、27日(月)の2日間、仙台国際センターにて開催される予定です。



写真3：REIC展示ブース、防災科研展示ブース



写真4：オールシーソリューション展示ブース